

# プールエース カタログ

【改訂第5版】

安全遊泳、  
強さ・美しさで確かな実力を発揮。



登録品種	登録番号	登録品種	登録番号
●プールエース#200E	NO3081	●プールエースクッショントップ	NO3078
●プールエース#200M	NO3082	●プールエースクッションプライマー	NO3077
●プールエース#200RC	NO3080	●プールエース#500	NO3150
●プールエース#300	NO3076	●プールエース#500クリヤー	NO3151
●プールエース#400	NO3069	●NT金属用プライマー-ECO	NO3256
●プールエースクッションII	NO3289	●プールエースプライマー-RC	NO3086
●ガードブルーフ	NO3242	●プールエース金属用プライマー-E	NO3084

# 性能パワーアップ。 3拍子そろった新しい プール用塗料です。

## 美観

水をきれいに、泳ぐ人を美しく見せ、清潔感を感じさせます。

## 保護

プール素材の摩耗、風化(コンクリート製)、  
腐食(鋼板・アルミニウム・ステンレス製)を防止し、  
耐久性を向上させます。

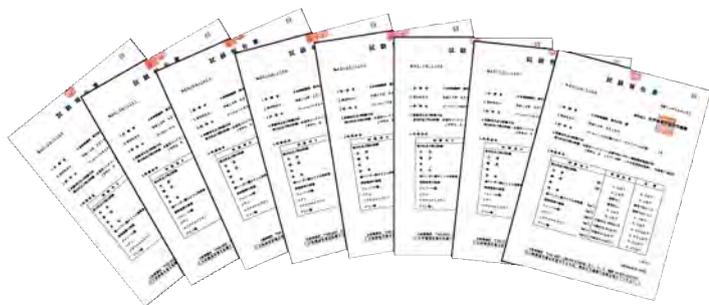
## 安全衛生

JWWAの溶出試験をクリアする塗膜は、  
清潔・防汚管理も容易で、安全衛生を高めます。

※水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法/JWWA  
K143:2004日本水道協会規格適合品ではありません。

プールエースには  
耐候性の優れた各上塗りを取り揃えています。

- **プールエース#300** (ウレタン樹脂塗料)  
耐薬品性に優れた標準的な上塗り塗料。
- **プールエース#400** (アクリルシリコン樹脂塗料)  
ウレタン樹脂塗料より耐候性に優れます。
- **プールエース#500** (フッ素樹脂塗料)  
シリーズの中で一番耐候性、耐薬品性に優れます。



プールエース各仕様は、水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装  
方法/JWWA K143:2004 日本水道協会規格一付属書C(規定)の浸  
出性および浸出試験の水質検査数値をクリアします。

- 試験機関: (財)化学物質評価研究機構
- 試験機関: (株)東京環境測定センター
- 試験結果報告日: 平成14年10月28日
- 試験結果報告日: 平成19年3月26日

注)水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法/JWWA K143:2004 日本  
水道協会規格適合品ではありません。



## 確かな実績と技術

日本特殊塗料株式会社は、90年以上にわたって、航空機用塗料をはじめ、建築・建材用塗料、塗り床材、防水材などの分野で経験と実績を培ってきました。その高度な技術力を生かして開発したのが「プールエース」です。

「プールエース」は1980年開発以来、各種の試験・実施工を繰り返して完成させたプールおよびプールサイド専用の塗料です。

美観・保護・安全衛生、どの面からも一歩進んだ機能を備えています。また、施工についてはプール内面に限らずプールサイドにも各種の施工仕様をラインアップしています。



▲航空機用塗料が採用された旅客機



▲防水材が施工されたマンション



▲建築用塗料で彩られたマンション

## プールエースライン用標準色



▲ライン用ブルー  
H77-20L(近似)

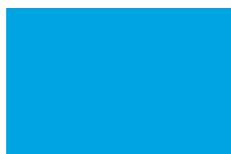


▲ライン用レッド  
H05-40X(近似)



▲ライン用イエロー  
H19-75X(近似)

## プールエース標準色



▲サファイアブルー



▲アクアマリンブルー



▲ウィステリアブルー



▲パールホワイト

●この標準色は印刷のため、実際の施工の仕上りとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。

# 製品のシリーズ化を完成。多彩なご要望にお応えします。

## 下地処理材

製品名	成分	内容	容量	標準施工面積	施工方法
NTカチオンタイトF	カチオン系SBR ポリマーセメント	カチオン系 下地補修材	主 材 16kg   20kgセット 混和剤 4kg	1.7kg/m <sup>2</sup> (膜厚約1mm)	金ゴテ
NTエポキシ速乾フィラー	エポキシ樹脂 エマルジョン (2液1粉)	下地補修用 エポキシフィラー	主 材 4kg(ビニールパウチ) 硬 化 剤 4kg(ビニールパウチ) パウダー 26kg(13kg×2袋)	1.7kg/m <sup>2</sup> (膜厚約1mm)	ローラー 金ゴテ
ブルエースエポキシフィラー	水性エポキシ樹脂 (2液)	下地補修用 エポキシフィラー	A材 20kg   25kgセット B液 5kg	2.0kg/m <sup>2</sup> (膜厚約1mm)	金ゴテ
NTエポキシパテ	エポキシ樹脂無溶剤形 (2液)	下地補修用パテ	A液 10kg   20kg A液 3kg   6kg B液 10kg   セット B液 3kg   セット	—	ヘラ・金ゴテ

## ブル内面 および 上縁部

製品名	成分	内容	容量	標準施工面積	施工方法
<b>■ 下塗り</b>					
ブルエースプライマーRC	エポキシ樹脂溶剤形 (2液)	コンクリート・ モルタルブル用	A液 12kg   16kgセット B液 4kg	120m <sup>2</sup> *① (PS/パウダー含む)	刷毛・ローラー
ブルエース金属用プライマーE	エポキシ樹脂溶剤形 (2液)	アルミニウム・ ステンレスブル用	A液 15kg   16.5kgセット B液 1.5kg	110m <sup>2</sup>	刷毛・ローラー スプレー
NT金属用プライマーECO	エポキシ樹脂溶剤形 (2液)	鋼製・アルミニウム・ ステンレスブル用	A液 15kg   16.5kgセット B液 1.5kg	55m <sup>2</sup> (2回塗り)	刷毛・ローラー スプレー

\*①:「PS/パウダー」のほかに「普通ポルトランドセメント」をご使用いただけます。ご使用の際は注意事項を参照してください。

●ブルエース金属用プライマーEはホワイト色のみです。

### ■ 中塗り

ブルエース#200RC	エポキシ樹脂溶剤形 (2液)	コンクリート・ モルタルブル用	A液 15kg   18kgセット B液 3kg	60m <sup>2</sup> (2回塗り)	刷毛・ローラー スプレー
ブルエース#200E	エポキシ樹脂溶剤形 (2液)	アルミニウム・ ステンレスブル用	A液 15kg   16.5kgセット B液 1.5kg	55m <sup>2</sup> (2回塗り)	刷毛・ローラー スプレー
ブルエース#200M	エポキシ樹脂溶剤形 (2液)	鋼製ブル用	A液 15kg   18kgセット B液 3kg	120m <sup>2</sup>	刷毛・ローラー スプレー

### ■ ライニング用

ガードブルーF*②	エポキシ樹脂無溶剤形 (2液)	ライニング用	A液 12kg   15kgセット B液 3kg	1.3kg/m <sup>2</sup> (膜厚約1mm)	ゴムベラ 金ゴテ
-----------	--------------------	--------	-----------------------------	----------------------------------	-------------

\*②: B液は気温にあわせて一般型、冬型の2種類があります。色はブルーとグレーの2色となります。

### ■ 上塗り

ブルエース#300	ウレタン樹脂溶剤形 (2液)	共通上塗材 上塗保護材	A液 15kg   18kg	A液 5kg   6kg	120m <sup>2</sup> (18kgセット)	刷毛・ローラー スプレー
ブルエース#300クリアー			B液 3kg   セット	B液 1kg   セット		
ブルエース#400	アクリルシリコン樹脂溶剤形 (2液)	共通上塗材	A液 14kg   16kgセット B液 2kg		105m <sup>2</sup>	刷毛・ローラー スプレー
ブルエース#500	フッ素樹脂溶剤形 (2液)	共通上塗材	A液 15kg   18kg	A液 5kg   6kg	112m <sup>2</sup> (18kgセット)	刷毛 ローラー
ブルエース#500クリアー			B液 3kg   セット	B液 1kg   セット		
ブルエース#500クリアー	フッ素樹脂溶剤形 (2液)	上塗保護材	A液 15kg   16.5kg	A液 5kg   5.5kg	110m <sup>2</sup> (16.5kgセット)	刷毛 ローラー
			B液 1.5kg   セット	B液 0.5kg   セット		

## 補強材

製品名	成分	内容	荷姿	標準施工面積	施工方法
ガラスクロスCAG45	ガラス繊維	ライニング工法用補強材	1.0m×100m	99m <sup>2</sup>	—
コルバック30H	ナイロン、ポリエステル複合繊維	ライニング工法用補強材	1.04m×100m	99m <sup>2</sup>	—
タフクロス#21(ガラスクロスEPF21A)	ガラス繊維	ライニング工法用補強材	1.04m×100m	99m <sup>2</sup>	—
ブルーフロンソフトクロス	ポリエステル繊維	ライニング工法用補強材	1m×50m	45m <sup>2</sup>	—

## 防水材

製品名	成分	内容	容量	標準施工面積	施工方法
ブルーフロンプライマーS	ウレタン樹脂溶剤形 (1液)	コンクリート・ モルタルブル用	16kg、4kg	80m <sup>2</sup> (16kg)	刷毛・ローラー
ブルーフロンバリューDX*③	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形 平場用 鉛・クロム・13物質フリー	JIS A 6021認証品	主 剤 5kg   20kgセット 硬化剤 15kg	1.4kg/m <sup>2</sup> (膜厚約1mm)	金ゴテ ゴムベラ
ブルーフロンバリューDX NS*④	建築用塗膜防水材ウレタンゴム系高伸長形 立上り用 鉛・クロム・13物質フリー	JIS A 6021認証品	主 剤 5kg   20kgセット 硬化剤 15kg	1.4kg/m <sup>2</sup> (膜厚約1mm)	金ゴテ ゴムベラ

\*③: 硬化剤は夏型、冬型があります。気温にあわせてご使用ください。

\*④: 通年型です。冬季などの寒い時期は「ブルーフロンバリューDX硬化促進剤」を添加してください。

●ご使用の際は、「ブルーフロンシリーズ総合カタログ」をご参照ください。

ブルーサイド

製品名	成分	内容	容量	標準施工面積	施工方法	
<b>■下塗り</b>						
ブルエースクッションプライマー	ウレタン樹脂溶剤形 (1液)	コンクリート・モルタル用クッション仕上用	16kg	160㎡ (2回塗り、ブルエースRシンナー含む)	刷毛・ローラー	
NTエコプライマー-U	ウレタン樹脂溶剤形 (1液)	コンクリート用プライマー	16kg	160㎡	刷毛 ローラー	
ユータックECプライマー	エポキシ樹脂溶剤形 (2液)	コンクリート・モルタル用ユータックE-30用	A液 12kg   16kg B液 4kg   セット	A液 3kg   4kg B液 1kg   セット	106㎡ (16kgセット)	刷毛・ローラー

**■中塗り**

ブルエースクッションII※⑤	ウレタン樹脂無溶剤形 (2液)	クッション材 防水材	A液 15kg   20kgセット B液 5kg	1.4kg/㎡ (膜厚約1mm)	ゴムベラ 金ゴテ
ユータックUグラウンドコート※⑥	ゴムチップ・ウレタン複合弾性形 (2液)	クッション材	バインダー 18kg 触媒 16kg ゴムチップ 20kg	8.0kg/㎡ (膜厚約10mm)	熱ローラー 熱ゴテ
ユータックE-30ECO※⑦	エポキシ樹脂無溶剤形 (2液)	環境配慮型塗り床材 厚膜タイプ	A液 12.5kg   15kgセット B液 2.5kg	1.3kg/㎡ (膜厚約1mm)	金ゴテ ローラー
ユータックE-30N※⑦	エポキシ樹脂無溶剤形 (2液)	塗り床材 厚膜タイプ	A液 12.5kg   15kgセット B液 2.5kg	1.3kg/㎡ (膜厚約1mm)	金ゴテ ローラー

※⑤:「ブルエースクッションII(グレー)」のA液には、夏型と冬型があります。「ブルエースクッションIIホワイト」は通年型ですので、冬季などの寒い時期は、「ブルーフロンバリュー DX硬化促進剤」を添加してください。

※⑥:印の製品は特注品となります。納期などについては最寄りの営業所までお問い合わせください。

※⑦: B液には夏型・一般型・冬型があります。防滑仕上げの際は、けい砂散布が必要となります。

**■上塗り**

ブルエースクッショントップ	アクリルウレタン樹脂溶剤形 (2液)	艶あり クッション用仕上材	A液 15kg   18kg B液 3kg   セット	A液 5kg   6kg B液 1kg   セット	90㎡ (18kgセット)	刷毛・ローラー スプレー
ブルエースクッショントップ遮熱	アクリルウレタン樹脂溶剤形 (2液)	遮熱タイプ 艶あり クッション用仕上材	A液 15kg   18kg B液 3kg   セット	A液 5kg   6kg B液 1kg   セット	90㎡ (18kgセット)	刷毛・ローラー スプレー
ユータックテクノ遮熱ONE 骨材入りローラー用	シリカ反応型水性 (1液)	遮熱タイプ 艶消し防滑仕上材	18kg		30㎡ (2回塗り)	ローラー
ユータックテクノONE 骨材入りローラー用	シリカ反応型水性 (1液)	艶消し防滑仕上材	18kg		30㎡ (2回塗り)	ローラー
ユータックR	ポリウレタン樹脂溶剤形 (2液)	艶あり仕上材	A液 15kg   18kg B液 3kg   セット	A液 5kg   6kg B液 1kg   セット	60㎡ (18kgセット)	刷毛・ローラー スプレー
ユータックS	ポリウレタン樹脂溶剤形 (2液)	艶消し仕上材	A液 15kg   18kg B液 3kg   セット	A液 5kg   6kg B液 1kg   セット	60㎡ (18kgセット)	刷毛・ローラー スプレー

シンナー類

製品名	成分	内容	容量
NTエポキシシンナー ECO	環境配慮型シンナー	NT金属用プライマーECO用シンナー	16ℓ、4ℓ
ブルエースEシンナー	エポキシ樹脂塗料用シンナー	ブルエース下塗・中塗用シンナー	16ℓ、4ℓ
ブルエースRシンナー	ウレタン樹脂塗料用シンナー	ブルエース上塗・クッションプライマー・クッショントップ用シンナー	16ℓ、4ℓ
ブルエース#400シンナー	シリコン樹脂塗料用シンナー	ブルエース#400用シンナー	16ℓ、4ℓ
ユータックEシンナー	エポキシ樹脂塗料用シンナー	ユータックE-30N用シンナー	16ℓ、4ℓ
ユータックRシンナー	ウレタン樹脂塗料用シンナー	ユータックR用シンナー、ユータックS用シンナー	16ℓ、4ℓ
ブルーフロンエコシンナー	ウレタン樹脂塗料用シンナー	ユータッククッションII、ブルーフロンバリューDX用シンナー	16ℓ

その他

製品名	成分	内容	容量
アエロジルRY-200S	シリカ粉	増粘・ダレ止め材※⑧	5kg
ブルエース#200E C液	非金属系硬化促進剤	低温硬化性補助剤※⑨	0.83kg
ブルーフロンバリューDX硬化促進剤	防水層用硬化促進剤	低温硬化性補助剤※⑩	16kg、3.5kg、1kg
ミルコンMS-2	粘度調整用フィラー	増粘・ダレ止め材※⑪	5kg
エストップ#20・#40・#60	ゴムチップ	弾性骨材	12kg、1.2kg(#20のみ)
けい砂5号・6号・7号	けい砂	骨材	25kg
PSパウダー	ポルトランドセメント、特殊マイクロ骨材	添加骨材	16kg(4kg×4袋、段ボール箱詰め)
NTマイクロ骨材	シリカアルミナ	防滑仕上げ用軽量骨材	1kg

※⑧: ガードブルーフに使用。

※⑨: ブルエース#200E 16.5kgセットに対する添加量は5%です。

※⑩: 添加量は、20ページを参照してください。

※⑪: ブルーフロンバリューDX、ブルエースクッションII、ユータックE-30ECO、ユータックE-30Nに使用。

# プールエースの下地調整について

施工工事は、下地の状態や施工環境(気温、湿度、天候、立地環境など)により、施工時間や塗料の硬化時間、養生時間が変化します。このため、十分に施主及び監理者と打ち合わせを行い、余裕のある施工計画を立ててください。

## 新設下地の場合

### ■コンクリート・モルタル製プール

- ①コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。
  - 表面強度……1.5N/mm<sup>2</sup>以上
  - 圧縮強度……21N/mm<sup>2</sup>以上
- ②打設後の養生は充分に行ってください。
  - コンクリート……夏季(打設後3週間以上)、冬季(打設後4週間以上)
  - モルタル……夏季(打設後2週間以上)、冬季(打設後3週間以上)
- ③塗料の施工時、下地水分はケツト科学社製水分計HI-500または520-2コンクリートレンジの表示値が5%以下を目安としてください。
- ④コンクリート打設後の脆弱層やレイタンス、ジャンカ、段違い部および凸部は、ポリッシャーやサンダーなどでケレンし、除去してください。
- ⑤モルタル表面が硬く滑らか(緻密)になっているところはあらかじめサンダーなどで目粗しをしてください。
- ⑥サンダーなどの処理後、表面が荒れた部分は「プールエースエポキシフィラー」や「NTエポキシ速乾フィラー」「NTカチオンタイトF」で金ゴテ仕上げにより平滑に補修を行ってください。
- ⑦欠損部が小さい場合は「NTエポキシパテ」で充填してください。大きい場合はガードブルー樹脂モルタルで補修し、目止めを行ってください。

- ⑧1mm程度以下のひび割れは、NTエポキシパテにて処理してください。それよりも大きな場合は、Uカットを行い、弾性エポキシパテにて処理してください。なお、ひび割れ処理は、現場監督者とあらかじめ相談してください。
- ⑨油脂分や離型材などはシンナーなどで除去してください。
- ⑩砂や粉塵などは清掃し、除去してください。

### ■アルミニウム製プール

- ①下地処理は、2種を行い、粗面にしてください(ディスクペーパー#36)。
- ②油脂などの汚れは溶剤で除去してください。

### ■ステンレス製プール

- ①1種、または2種ケレンを行い、粗面にしてください(ディスクペーパー#36)。
- ②油脂などの汚れは溶剤で除去してください。

### ■鋼製プール

- ①サンドブラスト、またはショットブラストによる1種ケレンを行ってください(SIS Sa2.5以上)。また、溶接部分は、とくに入念に行ってください。
- ②油脂などの汚れは溶剤で除去してください。
- ③ケレン、清掃終了後に直ちにプライマーを施工してください(3時間以内)。

## 改修下地・既存塗膜無しの場合

### ■コンクリート・モルタル製プール

- ①モルタル下地の強度が不足している場合は、モルタルを打ち直ししてください。
- ②既設コンクリート・モルタル製プールの排水は施工する10日以上前に行ってください。
- ③既設コンクリート・モルタル製プールの藻類の除去には、排水7日前に水100㎡に対してトリクロルイソシアヌル酸4kgの

割合で散布し殺藻を行い、排水時に高圧水洗浄で残った藻類を洗い流してください。また、排水は残留塩素濃度0.4ppm以下を確認してから行ってください。

- ④ひび割れや浮きなどがある場合の処理は、あらかじめ現場監督者と処理について協議して決定してください。
- ⑤下地処理については、上記の新設下地の場合④以降に準じて処理してください。

## 改修下地・既存塗膜ありの場合

### ■コンクリート・モルタル製プール

- ①排水・藻の除去は上記の改修下地・既存塗膜無しの場合③④に準じてください。
- ②ディスクサンダーなどによるケレンにより、既存塗膜を除去してください(金属ケレンの1種もしくは2種ケレン)。3種ケレン以上(RB種を含む)は基本推奨していません。3種ケレン以上(RB種)の場合は、最寄りの営業所にご相談ください。
- ③既存塗膜を剥離剤で除去すると、剥離剤が残り付着の不良の原因になります。もし、使用された場合は、水洗やケレンで完全に除去してください。
- ④ひび割れや浮きがある場合の処理は、あらかじめ現場監督者と処理について協議して決定してください。
- ⑤下地補修は上記の新設下地の場合④以降に準じて処理してください。

### ■アルミ・ステンレス・鋼板プール

- ①既存塗膜は1種、または2種ケレンにより除去してください(鋼製プールは1種ケレン)。サビの除去不足は早期の発錆の原因となります。
- ②溶接部分は、とくに入念に除去してください。
- ③鋼製プールの場合はケレン、清掃後に直ちにプライマーを施工してください(3時間以内)。
- ④既存塗膜の撤去に剥離剤を使用する場合は、水洗やケレンにより剥離剤が残らないように完全に除去してください。また、水洗不要タイプの剥離剤は除去が難しいため使用しないでください。剥離剤が残ると密着不良などの不具合の原因になります。
- ⑤腐食による欠損や溶接部のひび割れなどがある場合の処理については、あらかじめ監督者と処理について協議してください。

# 下地調整材について

(各種フィラーをご使用の際は、個別カタログをよくお読みになり正しくご使用ください)

## 使用方法(共通)

### ●下地処理:

既存塗膜、下地の脆弱層、レイトンス、油脂、汚れなどはワイヤーブラシ、サンダー掛けなどで除去し、水洗いまたは高圧水洗機で清掃を行ってください。下地に油分が含まれる場合、接着強度が得られ難いため、油分は除去した後、施工を行ってください。浮き水は必ず除去してください。

- 屋外施工において、施工当日から翌日にかけて結露や強風、降雨、降雪、降霜が予測される場合は施工を避けてください。

### ●NT吸水調整剤:

工程	材料の割合 (重量比)	塗り回数	施工方法	使用量	1缶当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
吸水調整	●NT吸水調整剤……………18kg ●水……………72kg	1~2回	●ローラー ●自在刷毛 ●スプレー	0.2kg/㎡	450㎡/缶	1時間以上

- 気温が35℃以上または5℃以下、湿度80%以上の環境での施工は避けてください。

### ●吸水調整:

コンクリートやモルタルで吸い込みが激しい場合は、NT吸水調整剤もしくは水打ちを行い、吸水調整を行ってから施工してください。コンクリートブロックなど、吸水の激しい下地の場合は特に注意してください。

注)「NT吸水調整剤」は「NTカチオンタイトF」「NTエポキシ速乾フィラー」に使用できます。

## プールエースエポキシフィラー [A材: 20kg B液: 5kg]

### NTエポキシ速乾フィラー [主剤: 4kg 硬化剤: 4kg パウダー: 26kg(13kg×2袋)]

- 「プールエースエポキシフィラー」はB液にA材をモルタルミキサーやハンドミキサーで攪拌しながら徐々に投入し、泡を含まず、練残しの無いように混練してください。

- 「NTエポキシ速乾フィラー」は、主剤と硬化剤を混ぜ合わせ、その後、パウダーをモルタルミキサーやハンドミキサーで攪拌しながら徐々に投入し、泡を含まず練残しの無いように混練してください。

- 施工はコテの場合はコテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けてください。ローラーの場合は、ムラなく施工してください。仕上げ材の種類によっては金ゴテ押さえなどを行ってください。

- 各フィラーの可使時間は50分~60分(23℃)です。可使時間を過ぎると作業性や付着性に影響しますので遵守してください。

- フィラーを重ね塗りする場合は、24時間以上 7日以内(23℃)に施工してください。

- プライマーは溶剤形ですので、フィラーの硬化を確認後、施工してください。冬季は硬化性の点から「NTエポキシ速乾フィラー」のご使用をおすすめします。

- プールエースエポキシフィラー…………… 3日以上(23℃)
- NTエポキシ速乾フィラー…………… 2日以上(23℃)

## NTカチオンタイトF [パウダー: 16kg 硬化液: 4kg]

- セットされた缶の中から硬化液を取り出し、3.5kg程度をパウダーに加え、ハンドミキサーで均一に混練してください。さらに、若干の硬化液を加えて作業に適した粘度に調整を行ってください。硬化液を一度に全量加えると、粘度が低くなりすぎる場合があります。

- 施工はコテの場合はコテ圧をかけて下地に擦り込むように塗

り付け、追っかけで所定の厚さに塗り付けてください。

- 混練した材料の可使時間は、夏季1時間、冬季2時間以内です。

- 重ね塗りする場合は、5時間以上(23℃)経過した後としてください。

- プライマーは溶剤形ですので、3日以上(23℃)養生しフィラーの硬化を確認後、施工してください。

## 施工後

- 直射日光を避け、必要に応じて屋外ではシート掛けなどの養生を行ってください。また、施工後、降雨、降雪のおそれがある場合もシート掛けなどの養生を行ってください。白化した場合は、白化部を削り取ってから、次工程の作業を行って

ください。水洗いはしないでください。

なお、降雨により塗膜が脆弱になっている場合は塗膜を取り除き、再度施工してください。





# サーフェイス入りライニング工法

不織布ガラスサーフェイスマットと無溶剤エポキシ樹脂で補強する工法です。エポキシ樹脂積層強度は、クロス入りライニング工法より優れ、腐食による漏水が懸念されるプールなどに用います。

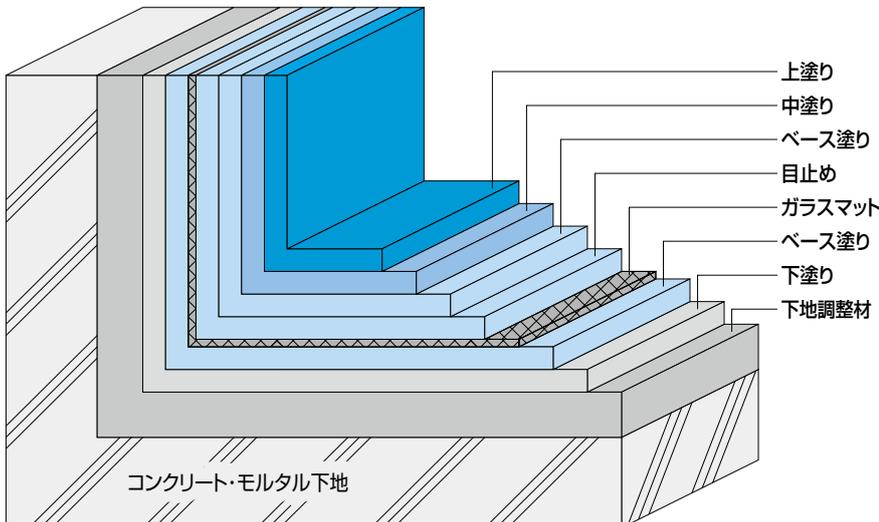
## 「コンクリート・モルタル製プール」サーフェイス入りライニング工法標準施工仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	●コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。表面強度は1.5N/㎡以上、圧縮強度は、21N/㎡以上 ●打設後の養生は、充分に行ってください。 コンクリート=夏季で打設後3週間以上、冬季で打設後4週間以上 モルタル=夏季で打設後2週間以上、冬季で打設後3週間以上				●コンクリート打設後のジャンカ、段違い部および凸部は、サンダーなどでケレンし、除去してください。 ●油脂分や離型材などはシンナーなどで除去してください。 ●砂や粉塵などは清掃し、除去してください。
下地調整 (必要に応じて)	●NTカチオンタイトF 主材……………16kg ● “ “ 混和剤……………4kg	●金ゴテ	1時間以内	1.7kg/㎡※ (膜厚約1mm)	3日以上
下塗り	●プールエースプライマーRC A液……………12kg ● “ “ “ B液……………4kg ●PSパウダー……………16kg ●プールエースEシンナー……………0~2kg	●刷毛 ●ローラー	12時間以内	0.2~0.3kg/㎡ (PSパウダーを含む)	6時間以上72時間以内
ベース塗り	●ガードブルーフ A液……………12kg ● “ “ B液……………3kg	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.2kg/㎡	直ちに
サーフェイスマット 張り	●コルバック30H	—	—	—	直ちに
目止め	●ガードブルーフ A液……………12kg ● “ “ B液……………3kg	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ		0.5kg/㎡	16時間以上72時間以内
ベース塗り	●ガードブルーフ A液……………12kg ● “ “ B液……………3kg	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.6kg/㎡	16時間以上72時間以内
中塗り	●プールエース#200RC 指定色 A液……………15kg ● “ “ “ B液……………3kg ●プールエースEシンナー……………2~4kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
上塗り	●プールエース#300 指定色 A液……………15kg ● “ “ “ B液……………3kg ●プールエースRシンナー……………2~5kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回)	●プールエース#300 指定色 A液……………15kg ● “ “ “ B液……………3kg ●プールエースRシンナー……………2~5kg	●刷毛 ●ローラー	6時間以内	0.2~0.25kg/㎡	歩行可能：12時間以上 注水までの養生期間：7日間以上

※⑩：下地処理材の使用量は下地の凹凸具合などにより増減したり塗り回数が増える場合があります。

### ■注意事項

- 下塗りは必ず刷毛・ローラーで施工してください。
- 下塗り塗料とPSパウダーの調合は、1セット(A液とB液を混合したもの16kg)の半量(8kg)と、PSパウダー16kgをオートマゼールなどで予備混合し、ダマがなくなり次第、残りの半量(8kg)を投入して、充分に混合・攪拌してください。また、施工の際はPSパウダーの沈降がありますので、混合しながら作業を進めてください。
- ガードブルーフを立上りや目止めでご使用の際は、塗料に対してアエロジルRY-200Sを0~2%(重量比)添加してください。
- ガードブルーフを施工後、施工間隔がいたり、降雨や夜露に曝された場合は塗膜表面に艶引け、白化、ベタつきが生じる場合があります。その場合、サンドペーパーで表面の不具合を取り除いた後、次の工程へ進んでください。
- サーフェイスマットのラップ幅は50mm以上行ってください。表面の凹凸部はサンディングやガードブルーフで表面調整してください。





## 「アルミニウム・ステンレス製プール」標準施工仕様

(アルミニウム、ステンレス製プールには、掲載の2工法の他に「サーフェイス入りライニング工法」も  
あります。詳細は最寄りの営業所にお問い合わせください。)

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	●全面1種ケレン、または2種ケレンを行ってください。 ●手や足などで下地に直接さわらないでください。				●結露していないことを確認して次工程へ進めてください。 ●油脂類などの汚れは溶剤で脱脂してください。
下塗り	●プールエース金属用プライマーE A液 .....1.5kg ● " " B液 .....1.5kg ●プールエースEシンナー.....2~3kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	8時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
中塗り①※⑬	●プールエース#200E 指定色 A液.....1.5kg ● " " B液.....1.5kg ●プールエースEシンナー.....2~3kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
中塗り②※⑬	●プールエース#200E 指定色 A液.....1.5kg ● " " B液.....1.5kg ●プールエースEシンナー.....2~3kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
上塗り	●プールエース#300 指定色 A液 .....1.5kg ● " " B液 .....3kg ●プールエースRシンナー.....2~5kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回)	●プールエース#300 指定色 A液 .....1.5kg ● " " B液 .....3kg ●プールエースRシンナー.....2~5kg	●刷毛 ●ローラー	6時間以内	0.2~0.25kg/㎡	歩行可能：12時間以上 注水までの養生期間：7日間以上

## 「アルミ・ステンレス製プール」クロス入りライニング工法標準施工仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	●全面1種ケレン、または2種ケレンを行ってください。 ●手や足などで素地に直接さわらないでください。				●結露していないことを確認して次工程へ進めてください。 ●油脂類などの汚れは溶剤で脱脂してください。
下塗り	●プールエース金属用プライマーE A液 .....1.5kg ● " " B液 .....1.5kg ●プールエースEシンナー.....2~3kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	8時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
ベース塗り	●ガードブルーフ A液 .....1.2kg ● " B液 .....3kg	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.2kg/㎡	直ちに
クロス張り	●ガラスクロスCAG45	—	—	—	直ちに
目止め	●ガードブルーフ A液 .....1.2kg ● " B液 .....3kg	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.5kg/㎡	16時間以上72時間以内
ベース塗り	●ガードブルーフ A液 .....1.2kg ● " B液 .....3kg	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.6kg/㎡	16時間以上72時間以内
中塗り※⑬	●プールエース#200E 指定色 A液.....1.5kg ● " " B液.....1.5kg ●プールエースEシンナー.....2~3kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
上塗り	●プールエース#300 指定色 A液 .....1.5kg ● " " B液 .....3kg ●プールエースRシンナー.....2~5kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回)	●プールエース#300 指定色 A液 .....1.5kg ● " " B液 .....3kg ●プールエースRシンナー.....2~5kg	●刷毛 ●ローラー	6時間以内	0.2~0.25kg/㎡	歩行可能：12時間以上 注水までの養生期間：7日間以上

### ■上記2工法の注意事項

※⑬：低温時(5~10℃)に施工する場合は、プールエース#200E C液を使用してください。プールエース#200E 16.5kgセットにC液を5%(0.83kg)添加してください。

- アルミニウム・ステンレスの溶接部は、プールエース金属用プライマーEで刷毛塗り(0.1kg/㎡)したあと、全面にプールエース金属用プライマーEを施工してください。
- 「プールエース金属用プライマーE」の代わりに「NT金属用プライマーECO」もご使用できます。
- ガードブルーフを立上りや目止めでご使用の際は、塗料に対してアエロジルRY-200Sを0~2%(重量比)添加してください。
- ガードブルーフを施工後、施工間隔があたり、降雨や夜露に曝された場合は塗膜表面に艶引け、白化、ベタつきが生じる場合があります。その場合、サンドペーパーで表面の不具合を取り除いた後、次の工程へ進んでください。
- ガラスクロスのリップ幅は50mm以上行ってください。表面の凹凸部はサンディングやガードブルーフで表面調整してください。

■「鋼製プール」標準施工仕様 (鋼製プールには、掲載の2工法他に「クロス入りライニング工法」もあります。詳細は最寄りの営業所にお問い合わせください。)

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	●サンドブラスト、またはショットブラストにより1種ケレンを行ってください。 ●油脂類の汚れは溶剤で脱脂してください。 ●ゴミ、ホコリなどは、真空掃除機で完全に除去してください。				●手や足などで下地に直接さわらないでください。 ●防錆、脱脂、清掃後に直ちにNT金属用プライマーECOを施工してください。
下塗り (1回目)	●NT金属用プライマーECO A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………1.5kg ●NTエポキシシンナーECO……………0~0.8kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	8時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
下塗り (2回目)	●NT金属用プライマーECO A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………1.5kg ●NTエポキシシンナーECO……………0~0.8kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	8時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
中塗り	●ブルエース#200M 指定色 A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………3kg ●ブルエースEシンナー……………2~5kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	8時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
上塗り	●ブルエース#300 指定色 A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………3kg ●ブルエースRシンナー……………2~5kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回)	●ブルエース#300 指定色 A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………3kg ●ブルエースRシンナー……………2~5kg	●刷毛 ●ローラー	6時間以内	0.2~0.25kg/㎡	歩行可能：12時間以上 注水までの養生期間：7日間以上

■「鋼製プール」サーフェイス入りライニング工法標準施工仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	●サンドブラスト、またはショットブラストにより1種ケレンを行ってください。 ●油脂類の汚れは溶剤で脱脂してください。 ●ゴミ、ホコリなどは、真空掃除機で完全に除去してください。				●手や足などで下地に直接さわらないでください。 ●防錆、脱脂、清掃後に直ちにNT金属用プライマーECOを施工してください。
下塗り (1回目)	●NT金属用プライマーECO A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………1.5kg ●NTエポキシシンナーECO……………0~0.8kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	8時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
下塗り (2回目)	●NT金属用プライマーECO A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………1.5kg ●NTエポキシシンナーECO……………0~0.8kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	8時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
ベース塗り	●ガードブルーフ A液……………1.2kg ●〃〃〃〃 B液……………3kg	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.2kg/㎡	直ちに
サーフェイスマット 張り	●コルバック30H	—	—	—	直ちに
目止め	●ガードブルーフ A液……………1.2kg ●〃〃〃〃 B液……………3kg	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.5kg/㎡	16時間以上72時間以内
ベース塗り	●ガードブルーフ A液……………1.2kg ●〃〃〃〃 B液……………3kg	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.6kg/㎡	16時間以上72時間以内
中塗り	●ブルエース#200M 指定色 A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………3kg ●ブルエースEシンナー……………2~5kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	8時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
上塗り	●ブルエース#300 指定色 A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………3kg ●ブルエースRシンナー……………2~5kg	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回)	●ブルエース#300 指定色 A液……………1.5kg ●〃〃〃〃 B液……………3kg ●ブルエースRシンナー……………2~5kg	●刷毛 ●ローラー	6時間以内	0.2~0.25kg/㎡	歩行可能：12時間以上 注水までの養生期間：7日間以上

- 注意事項 ●ガードブルーフを立上りや目止めでご使用の際は、塗料に対してアエロジルRY-200Sを0~2%(重量比)添加してください。  
●ガードブルーフを施工後、施工間隔があいたり、降雨や夜露に曝された場合は塗膜表面に艶引け、白化、ベタつきが生じる場合があります。その場合、サンドペーパーで表面の不具合を取り除いた後、次の工程へ進んでください。  
●サーフェイスマットのラップ幅は50mm以上行ってください。表面の凹凸部はサンディングやガードブルーフで表面調整してください。

# 耐久性に優れる各種上塗り

上塗りの標準施工は、プールエース#300(アクリルウレタン樹脂塗料)の他に、プールエース#300クリヤー、#400(シリコン樹脂塗料)、#500(フッ素樹脂塗料)を取り揃えています。

なお、屋内温水プールでは温度による消毒薬の塗膜への作用が大きくなり、一般の屋外プールに比較して脱色劣化が早くなりますので、標準施工仕様の上にさらにプールエース#300クリヤーを施工してください。もしくは、耐薬品性に優れる「プールエース#500」の施工をおすすめします。

耐候性をお求めの場合は、プールエース#400、#500をお選びください。耐候性はプールエース#500>プールエース#400>プールエース#300の順で高いです。

## ■上塗り施工仕様

### ●上塗#300クリヤー施工仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
保護クリヤー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300クリヤー A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………3~4kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.12~0.15kg/㎡	歩行可能：12時間以上 注水までの養生期間：7日間以上

### ●上塗#400施工仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
上塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#400 指定色 A液……………14kg</li> <li>●" " B液……………2kg</li> <li>●プールエース#400シンナー……………2~6kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#400 指定色 A液……………14kg</li> <li>●" " B液……………2kg</li> <li>●プールエース#400シンナー……………2~6kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	6時間以内	0.2~0.25kg/㎡	歩行可能：12時間以上 注水までの養生期間：7日間以上

### ●上塗#500施工仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
上塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#500 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	4時間以内	0.14~0.16kg/㎡	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#500 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	4時間以内	0.2~0.25kg/㎡	6時間以上72時間以内
トップコート	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#500クリヤー A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………1.5kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	4時間以内	0.12~0.15kg/㎡	歩行可能：12時間以上 注水までの養生期間：7日間以上



# プールエース 文部科学省プール仕様 一覧

プールの素材	コンクリート・モルタル			
種別	新設		改修	
	記載なし	記載なし	エポキシ樹脂系 +ウレタン樹脂系 塗料塗り替え	ライニング工法 ウレタン樹脂系仕上げ
文部科学省の仕様No.	特記		<PEU>-1	<GEU>-1
当社記号	プールエース#300 PEU-1 RA-RC工法	プールエース#300 GEU-1 RA-RC工法	プールエース#300 PEU-1 RA-RC工法	プールエース#300 GEU-1 RA-RC工法
下地調整	表面研磨		RA種	
下地処理材	プールエースエポキシフィラー もしくは NTエポキシ速乾フィラー			
下塗り	プールエースプライマーRC+PSパウダー			
クロスライニング エポキシ樹脂ライニング	—	ガラスクロス ガードブルーフ	—	ガラスクロス ガードブルーフ
中塗り	プールエース#200RC			
上塗り(2回塗り)	プールエース#300 (2回塗り)			

プールの素材	アルミニウム・ステンレス			
種別	新設		改修	
	記載なし	記載なし	エポキシ樹脂系 +ウレタン樹脂系 塗料塗り替え	ライニング工法 ウレタン樹脂系仕上げ
文部科学省の仕様No.	特記		<PEU>-1	<GEU>-1
当社記号	プールエース#300 PEU-1 RA-E工法	プールエース#300 GEU-1 RA-E工法	プールエース#300 PEU-1 RA-E工法	プールエース#300 GEU-1 RA-E工法
下地調整	表面目粗し		RA種	
下塗り	プールエース金属用プライマーE もしくは NT金属用プライマーECO			
クロスライニング エポキシ樹脂ライニング	—	ガラスクロス ガードブルーフ	—	ガラスクロス ガードブルーフ
中塗り	プールエース#200E			
上塗り(2回塗り)	プールエース#300			

プールの素材	鋼板			
種別	新設		改修	
	記載なし	記載なし	エポキシ樹脂系 +ウレタン樹脂系 塗料塗り替え	ライニング工法 ウレタン樹脂系仕上げ
文部科学省の仕様No.	特記		<PEU>-3	<GEU>-3
当社記号	プールエース#300 PEU-3 RA-M工法	プールエース#300 GEU-3 RA-M工法	プールエース#300 PEU-3 RA-M工法	プールエース#300 GEU-3 RA-M工法
下地調整	1種または2種ケレン		RA種	
下塗り(2回塗り)	NT金属用プライマーECO			
クロスライニング エポキシ樹脂ライニング	—	ガラスクロス ガードブルーフ	—	ガラスクロス ガードブルーフ
中塗り 厚膜	ガードブルーフ	—	ガードブルーフ	—
中塗り	プールエース#200M			
上塗り(2回塗り)	プールエース#300			

※コンクリート面、モルタル面、鉄鋼面、アルミニウム面、ステンレス面の下地調整の種別および工程

下地調整	工程	面の処理
RA種	既存塗膜の除去、汚れ、付着物の除去	ディスクサンダー、スクレーパーなどにより、塗膜およびサビなどを全面除去してください。

# プールエース 文部科学省プール仕様

令和4年度  
文部科学省  
建築改修工事標準仕様

PEU-1 (エポキシ樹脂系+ウレタン樹脂系 塗料塗り替え) プールエース#300 PEU-1 RA-RC工法

## ウレタン樹脂系仕上げ(2液) プール用塗料施工仕様 [プールエース#300 コンクリート・モルタル製プール改修工事 標準施工仕様]

工程	材料の調合	施工方法	可使時間(23℃)	使用量	施工間隔(23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●排水は施工する10日以上前に行ってください。</li> <li>●藻類の除去は殺藻(排水7日前に水100mlにトリクロロイソシアヌル酸4kgの割合で散布)後、排水時に高圧水洗浄で完全に除去してください。また、排水は残留塩素濃度0.4ppm以下を確認してから行ってください。</li> <li>●仕上げ塗装などの下地となる面の凹凸および段差部分などは、サンダーがけまたはエポキシ樹脂系ポリマーセメントモルタルおよびエポキシ樹脂モルタルの充填などにより、平滑に補修してください。</li> <li>●表面にサビが認められる場合は浮き部分をはつり取り、サビの発生している鉄筋の表面を露出させ、サビをケレンし防錆塗料を塗布した後、エポキシ樹脂モルタルなどで補修してください。</li> <li>●ディスクサンダー、スクレーパーなどにより、塗膜およびサビなどを全面除去して</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●ください(RA種)。</li> <li>●コンクリート打設後のジャンカ、段違い部および凸部はサンダーなどでケレンし、除去してください。</li> <li>●モルタル表面が硬く、滑らかになっているところは、あらかじめサンダーなどで目粗しを行ってください。</li> <li>●モルタル表面に浮いているセメントや砂は、ワイヤーブラシなどで擦り落としてください。</li> <li>●油脂分や離型材などはシンナーなどで除去してください。</li> <li>●砂やゴミ、ホコリなどは真空掃除機などで清掃し、完全に除去してください。</li> <li>●未塗装のコンクリート面、モルタル面は高圧水洗機で水洗いし、充分に乾燥させてください。</li> </ul>
下地処理材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースエポキシフィラー A材 ……20kg</li> <li>●" " B液 ……5kg</li> <li>●水 ……0~0.5kg</li> </ul>	●金ゴテ	1時間以内	1~2kg/m <sup>2</sup> (膜厚約0.5~1mm)	3日以上
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースプライマーRC A液 ……12kg</li> <li>●" " B液 ……4kg</li> <li>●PSパウダー ……16kg</li> <li>●プールエースEシンナー ……0~2kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー	12時間以内	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> (PSパウダーを含む)	6時間以上72時間以内
中塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#200RC 指定色 A液 ……15kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> <li>●プールエースEシンナー ……2~4kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回) (必要に応じ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー	6時間以内	0.2~0.25kg/m <sup>2</sup>	歩行可能：12時間以上 養生期間：7日間以上

令和4年度  
文部科学省  
建築改修工事標準仕様

GEU-1 (ガラスクロスライニング工法 ウレタン樹脂系仕上げ) プールエース#300 GEU-1 RA-RC工法

## ウレタン樹脂系仕上げ(2液) プール用塗料施工仕様 [プールエース#300 コンクリート・モルタル製プール改修工事 標準施工仕様]

工程	材料の調合	施工方法	可使時間(23℃)	使用量	施工間隔(23℃)
下地調整	●下地調整は、PEU-1 (エポキシ樹脂系+ウレタン樹脂系 塗料塗り替え)使用に準ずる。				
下地処理材	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースエポキシフィラー A材 ……20kg</li> <li>●" " B液 ……5kg</li> <li>●水 ……0~0.5kg</li> </ul>	●金ゴテ	1時間以内	1~2kg/m <sup>2</sup> (膜厚約0.5~1mm)	3日以上
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースプライマーRC A液 ……12kg</li> <li>●" " B液 ……4kg</li> <li>●PSパウダー ……16kg</li> <li>●プールエースEシンナー ……0~2kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー	12時間以内	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> (PSパウダーを含む)	6時間以上72時間以内
ベース塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液 ……12kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> </ul>	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.2kg/m <sup>2</sup>	直ちに
クロス張り付け	●ガラスクロスCAG45				
目止め	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液 ……12kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> </ul>	●金ゴテ ●ローラー ●ゴムベラ	40分以内	0.5kg/m <sup>2</sup>	16時間以上72時間以内
積層	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液 ……12kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> </ul>	●金ゴテ ●ローラー	40分以内	0.6kg/m <sup>2</sup>	16時間以上72時間以内
中塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#200RC 指定色 A液 ……15kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> <li>●プールエースEシンナー ……2~4kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー ●スプレー	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回) (必要に応じ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>●" " B液 ……3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	●刷毛 ●ローラー	6時間以内	0.2~0.25kg/m <sup>2</sup>	歩行可能：12時間以上 養生期間：7日間以上

### ■上記2工法の注意事項

- 下地処理材は「プールエースエポキシフィラー」の代わりに「NTエポキシ速乾フィラー」も使用できます。
- 下塗りには必ず刷毛・ローラーで施工してください。
- 下塗り塗料とPSパウダーの調合は、1セット(A液とB液を混合したもの16kg)の半量(8kg)と、PSパウダー16kgをオートマゼーラーなどで予備混合し、ダマがなくなり次第、残りの半量(8kg)を投入して、充分に混合・攪拌してください。また、施工の際はPSパウダーの沈降がありますので、混合しながら作業を進めてください。
- ガードブルーフを立上りや目止めでご使用の際は、塗料に対してエアロジルRY-200Sを0~2%(重量比)添加してください。
- ガードブルーフを施工後、施工間隔があたり、降雨や夜露に曝された場合は塗膜表面に艶引け、白化、ベタつきが生じる場合があります。その場合、サンドペーパーで表面の不具合を取り除いた後、次の工程へ進んでください。
- サーフェイスマットのラップ幅は50mm以上行ってください。表面の凹凸部はサンディングやガードブルーフで表面調整してください。

PEU-1 (エポキシ樹脂系+ウレタン樹脂系 塗料塗り替え) プールエース#300 PEU-1 RA-E工法

ウレタン樹脂系仕上げ(2液) プール用塗料施工仕様 [プールエース#300 アルミニウム・ステンレス製プール改修工事 標準施工仕様]

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクサンダー、スクレーパーなどにより、塗膜およびサビなどを全面除去してください(RA種)。</li> <li>*アルミニウム製プール…サンドペーパー#16~#36</li> <li>*ステンレス製プール…サンドペーパー#24</li> <li>●溶接部分はとくに入念に除去してください。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●油脂類の汚れは溶剤で脱脂してください。</li> <li>●ゴミ、ホコリなどは、真空掃除機で清掃し、完全に除去してください。</li> <li>●手や足などで下地に直接さわらないでください。</li> <li>●結露していないことを確認し、次の工程へ進んでください。</li> </ul>	
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース金属用プライマーE A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 …… 1.5kg</li> <li>●プールエースEシンナー ……2~3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	8時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
中塗り※⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#200E 指定色 A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 ……1.5kg</li> <li>●プールエースEシンナー ……2~3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 …… 3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 …… 3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回) (必要に応じ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 …… 3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	6時間以内	0.2~0.25kg/m <sup>2</sup>	歩行可能：12時間以上 養生期間：7日間以上

GEU-1 (ガラスクロスライニング工法 ウレタン樹脂系仕上げ) プールエース#300 GEU-1 RA-E工法

ウレタン樹脂系仕上げ(2液) プール用塗料施工仕様 [プールエース#300 アルミニウム・ステンレス製プール改修工事 標準施工仕様]

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクサンダー、スクレーパーなどにより、塗膜およびサビなどを全面除去してください(RA種)。</li> <li>*アルミニウム製プール…サンドペーパー#16~#36</li> <li>*ステンレス製プール…サンドペーパー#24</li> <li>●溶接部分はとくに入念に除去してください。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●油脂類の汚れは溶剤で脱脂してください。</li> <li>●ゴミやホコリなどは、真空掃除機にて清掃し、完全に除去してください。</li> <li>●手や足などで下地に直接さわらないでください。</li> <li>●結露していないことを確認し、次の工程へ進んでください。</li> </ul>	
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース金属用プライマーE A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 …… 1.5kg</li> <li>●プールエースEシンナー ……2~3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	8時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
ベース塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液 ……12kg</li> <li>● " B液 …… 3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金ゴテ</li> <li>●ローラー</li> <li>●ゴムベラ</li> </ul>	40分以内	0.2kg/m <sup>2</sup>	直ちに
クロス張り付け	●ガラスクロスCAG45	—	—	—	直ちに
目止め	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液 ……12kg</li> <li>● " B液 …… 3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金ゴテ</li> <li>●ローラー</li> <li>●ゴムベラ</li> </ul>	40分以内	0.5kg/m <sup>2</sup>	16時間以上72時間以内
積層	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液 ……12kg</li> <li>● " B液 …… 3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金ゴテ</li> <li>●ローラー</li> </ul>	40分以内	0.6kg/m <sup>2</sup>	16時間以上72時間以内
中塗り※⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#200E 指定色 A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 …… 1.5kg</li> <li>●プールエースEシンナー ……2~3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 …… 3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 …… 3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回) (必要に応じ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液 ……15kg</li> <li>● " " B液 …… 3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ……2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	6時間以内	0.2~0.25kg/m <sup>2</sup>	歩行可能：12時間以上 養生期間：7日間以上

■上記2工法の注意事項

※⑩:低温時(5~10℃)に施工する場合は、プールエース#200E C液を使用してください。プールエース#200E 16.5kgセットにC液を5%(0.83kg)添加してください。

- プールエース金属用プライマー E]の代わりに「NT金属用プライマー ECO」もご使用できます。
- ガードブルーフを立上りや目止めでご使用の際は、塗料に対してアエロジルRY-200Sを0~2%(重量比)添加してください。
- ガードブルーフを施工後、施工間隔があたり、降雨や夜露に曝された場合は塗膜表面に艶引け、白化、ベタつきが生じる場合があります。その場合、サンドペーパーで表面の不具合を取り除いた後、次の工程へ進んでください。
- ガラスクロスのリップ幅は50mm以上行ってください。表面の凹凸部はサンディングやガードブルーフで表面調整してください。

■ウレタン樹脂系仕上げ(2液) プール用塗料施工仕様[プールエース#300 鋼製プール改修工事 標準施工仕様]

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクサンダー、スクレーパーなどにより、塗膜およびサビなどを全面除去してください(RA種)。</li> <li>●溶接部分はとくに入念に除去してください。</li> <li>●油脂類の汚れは溶剤で脱脂してください。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゴミ、ホコリなどは、真空掃除機で清掃し、完全に除去してください。</li> <li>●手や足などで下地に直接さわらないでください。</li> <li>●防錆、脱脂、清掃後、3時間以内にNT金属用プライマーECO(下塗り1回目)を施工してください。</li> </ul>
下塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NT金属用プライマーECO A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………1.5kg</li> <li>●NTエポキシシンナーECO……………0~0.8kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	8時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
下塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NT金属用プライマーECO A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………1.5kg</li> <li>●NTエポキシシンナーECO……………0~0.8kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	8時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
積層	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液……………12kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金ゴテ</li> <li>●ローラー</li> </ul>	40分以内	0.6kg/m <sup>2</sup>	16時間以上72時間以内
中塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#200M 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースEシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回) (必要に応じ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	6時間以内	0.2~0.25kg/m <sup>2</sup>	歩行可能：12時間以上 養生期間：7日間以上

■注意事項 ●ガードブルーフは必要に応じ、ダレ止め材としてアエロジルRY-2000Sを塗料に対し0~2%(重量比)添加してください。

■ウレタン樹脂系仕上げ(2液) プール用塗料施工仕様[プールエース#300 鋼製プール改修工事 標準施工仕様]

工程	材料の調合	施工方法	可使用時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクサンダー、スクレーパーなどにより、塗膜およびサビなどを全面除去してください(RA種)。</li> <li>●溶接部分はとくに入念に除去してください。</li> <li>●油脂類の汚れは溶剤で脱脂してください。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゴミ、ホコリなどは、真空掃除機で清掃し、完全に除去してください。</li> <li>●手や足などで下地に直接さわらないでください。</li> <li>●防錆、脱脂、清掃後、3時間以内にNT金属用プライマーECO(下塗り1回目)を施工してください。</li> </ul>
下塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NT金属用プライマーECO A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………1.5kg</li> <li>●NTエポキシシンナーECO……………0~0.8kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	8時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
下塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NT金属用プライマーECO A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………1.5kg</li> <li>●NTエポキシシンナーECO……………0~0.8kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	8時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
ベース塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液……………12kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金ゴテ</li> <li>●ローラー</li> <li>●ゴムベラ</li> </ul>	40分以内	0.2kg/m <sup>2</sup>	直ちに
クロス張り付け	●ガラスクロスCAG45	—	—	—	直ちに
目止め	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液……………12kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金ゴテ</li> <li>●ローラー</li> <li>●ゴムベラ</li> </ul>	40分以内	0.5kg/m <sup>2</sup>	16時間以上72時間以内
積層	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガードブルーフ A液……………12kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●金ゴテ</li> <li>●ローラー</li> </ul>	40分以内	0.6kg/m <sup>2</sup>	16時間以上72時間以内
中塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#200M 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースEシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
ライン用 (1~2回) (必要に応じ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300 指定色 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	6時間以内	0.2~0.25kg/m <sup>2</sup>	歩行可能：12時間以上 養生期間：7日間以上

■上記2工法の注意事項

- ガードブルーフを立上りや目止めなどで使用の際は、塗料に対してアエロジルRY-2000Sを0~2%(重量比)添加してください。
- ガードブルーフを施工後、施工間隔がいたり、降雨や夜露に曝された場合は塗膜表面に艶引け、白化、ベタつきが生じる場合があります。その場合、サンドペーパーで表面の不具合を取り除いた後、次の工程へ進んでください。
- ガラスクロスのラップ幅は50mm以上行ってください。表面の凹凸部はサンディングやガードブルーフで表面調整してください。

# プールサイドの工法

プールサイドはプール内面と同様にカラフルで美しく、耐薬品性に優れるなどの機能の他に素足で歩くため安全面を考慮する必要があります。プールサイドの各工法は当社が塗り床材「ユータックシリーズ」や屋根材「パラサーモシリーズ」の技術と知見を生かした仕様です。

プールサイドの仕上げについては、実際の塗り見本などで事前にご確認ください。また、滑りや転倒などによるケガについては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## クッション防滑工法

クッション工法は、弾性ウレタン塗り床材の技術を応用したソフト感のある工法で安全性が向上します。

## 遮熱工法

真夏の炎天下、プールサイドは高温になり、歩きづらくなります。遮熱工法は屋根用遮熱塗料の技術を床に応用した工法で、プールサイドの熱さを少しでも和らげる工法です。クッション遮熱工法はこれらを複合した工法でプールサイドに最適です。

### ■ 防滑工法標準施工仕様(コンクリート・モルタル面)

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。表面強度は1.5N/mm以上、圧縮強度は、21N/mm以上</li> <li>●打設後の養生は、充分に行ってください。コンクリート=夏季で打設後3週間以上、冬季で打設後4週間以上</li> <li>●モルタル=夏季で打設後2週間以上、冬季で打設後3週間以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モルタル表面の浮いているセメント、砂などをワイヤーブラシなどで落としてください。</li> <li>●クラック、欠損部はあらかじめモルタルなどで補修してください。</li> <li>●砂、ゴミ、ホコリなどは真空掃除機で完全に除去してください。</li> </ul>			
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースプライマーRC A液 ..... 12kg</li> <li>● " " B液 ..... 4kg</li> <li>●PS/パウダー ..... 16kg</li> <li>●プールエースEシンナー ..... 0~2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	12時間以内	0.2~0.3kg/m <sup>2</sup> (PS/パウダーを含む)	6時間以上72時間以内
中塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#200RC指定色 A液 ..... 15kg</li> <li>● " " B液 ..... 3kg</li> <li>●プールエースEシンナー ..... 2~4kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	直ちに
けい砂散布	●けい砂6号	●手まき、またはモルタルガン	—	0.1~0.3kg/m <sup>2</sup>	6時間以上72時間以内
上塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエース#300指定色 A液 ..... 15kg</li> <li>● " " B液 ..... 3kg</li> <li>●プールエースRシンナー ..... 2~5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup>	歩行可能：12時間以上 養生期間：2日間以上

■注意事項 ●下塗りは必ず刷毛・ローラーで施工してください。  
●下塗り塗料とPS/パウダーの調合は、1セット(A液とB液を混合したもの16kg)の半量(8kg)と、PS/パウダー16kgをオートマゼールなどで予備混合し、ダマがなくなる次第、残りの半量(8kg)を投入して、充分に混合・攪拌してください。また、施工の際はPS/パウダーの沈降がありますので、混合しながら作業を進めてください。

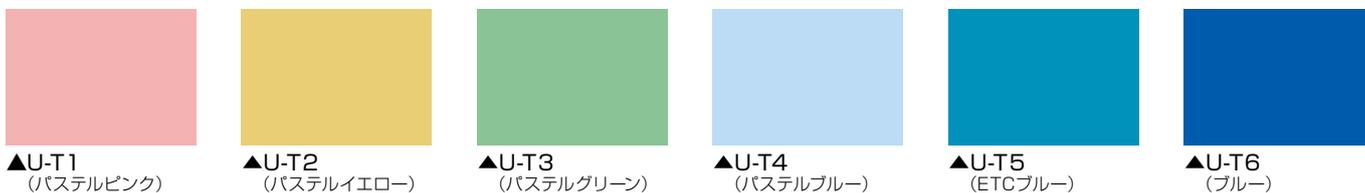
### ■ 遮熱・ローラー防滑工法標準施工仕様(コンクリート・モルタル面)

\*ローラー防滑工法として上塗りに「ユータックテクノONE 骨材入りローラー用」の仕様もあります。

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。表面強度は1.5N/mm以上、圧縮強度は、21N/mm以上</li> <li>●打設後の養生は、充分に行ってください。コンクリート=夏季で打設後3週間以上、冬季で打設後4週間以上</li> <li>●モルタル=夏季で打設後2週間以上、冬季で打設後3週間以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●モルタル表面の浮いているセメントや砂などはワイヤーブラシなどで落としてください。</li> <li>●クラック、欠損部はあらかじめモルタルなどで補修してください。</li> <li>●砂やゴミ、ホコリなどは真空掃除機で完全に除去してください。</li> </ul>			
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●NT水性速乾プライマー A液 ..... 3kg</li> <li>● " " B液 ..... 9kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	3時間以内	0.15kg/m <sup>2</sup>	4時間以上48時間以内
上塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユータックテクノ遮熱ONE骨材入りローラー用 ..... 18kg</li> <li>●水 ..... 0~2.7kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	—	0.3kg/m <sup>2</sup>	2時間以上72時間以内
上塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユータックテクノ遮熱ONE骨材入りローラー用 ..... 18kg</li> <li>●水 ..... 0~2.7kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	—	0.3kg/m <sup>2</sup>	歩行可能：5時間以上 養生期間：24時間以上

■注意事項 ●下塗りに「ユータック水性カチオンプライマー」「ユータックECプライマー」も使用できます。  
●上塗りに「ユータックシリカ遮熱」も使用できます。

## ユータックテクノ遮熱ONE専用標準色



●この色見本は印刷のため、実際の施工の仕上りとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。



## クッション防滑工法標準施工仕様(コンクリート・モルタル面)

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。表面強度は1.5N/㎡以上、圧縮強度は、21N/㎡以上</li> <li>●打設後の養生は、充分に行ってください。コンクリート=夏季で打設後3週間以上、冬季で打設後4週間以上</li> <li>●モルタル=夏季で打設後2週間以上、冬季で打設後3週間以上</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●モルタル表面に浮いているセメントや砂はワイヤーブラシなどで落としてください。</li> <li>●クラック、欠損部はあらかじめモルタルなどで補修してください。</li> <li>●砂、ゴミ、ホコリなどは真空掃除機で完全に除去してください。</li> </ul>
下塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッションプライマー……………16kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………32kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	—	0.15~0.2kg/㎡ (プールエースRシンナーを含む)	2時間以上6時間以内
下塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッションプライマー……………16kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………32kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	—	0.15~0.2kg/㎡ (プールエースRシンナーを含む)	2時間以上6時間以内
クッション層	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッションII A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゴムベラ</li> <li>●金ゴテ</li> </ul>	40分以内	2.1kg/㎡	18時間以上72時間以内
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッショントップ A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	4時間以内	0.2kg/㎡	4時間以上72時間以内
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッショントップ A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~3kg</li> <li>●エストップ各種……………0.5~2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛、ローラー</li> <li>●リシンガン</li> <li>●モルタルガン</li> <li>●HSガン</li> </ul>	4時間以内	0.25kg/㎡	歩行可能：12時間以上 養生期間：48時間以上

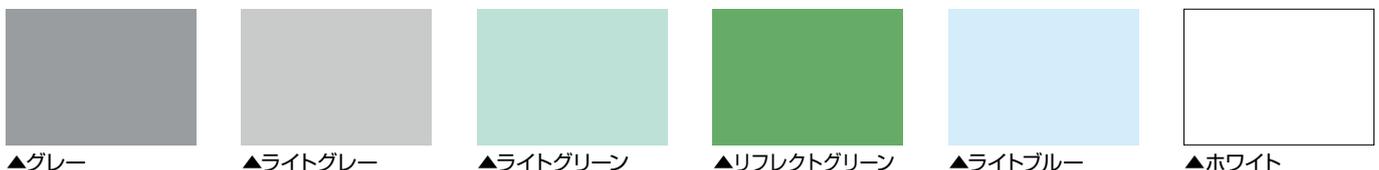
## クッション遮熱防滑工法標準施工仕様(コンクリート・モルタル面)

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。表面強度は1.5N/㎡以上、圧縮強度は、21N/㎡以上</li> <li>●打設後の養生は、充分に行ってください。コンクリート=夏季で打設後3週間以上、冬季で打設後4週間以上</li> <li>●モルタル=夏季で打設後2週間以上、冬季で打設後3週間以上</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●モルタル表面に浮いているセメントや砂はワイヤーブラシなどで落としてください。</li> <li>●クラック、欠損部はあらかじめモルタルなどで補修してください。</li> <li>●砂、ゴミ、ホコリなどは真空掃除機で完全に除去してください。</li> </ul>
下塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッションプライマー……………16kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………32kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	—	0.15~0.2kg/㎡ (プールエースRシンナーを含む)	2時間以上6時間以内
下塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッションプライマー……………16kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………32kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛</li> <li>●ローラー</li> </ul>	—	0.15~0.2kg/㎡ (プールエースRシンナーを含む)	2時間以上6時間以内
クッション層	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッションII A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………5kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゴムベラ</li> <li>●金ゴテ</li> </ul>	40分以内	2.1kg/㎡	18時間以上72時間以内
上塗り (1回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッショントップ遮熱 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~3kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> </ul>	4時間以内	0.2kg/㎡	4時間以上72時間以内
上塗り (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プールエースクッショントップ遮熱 A液……………15kg</li> <li>●" " B液……………3kg</li> <li>●プールエースRシンナー……………2~3kg</li> <li>●エストップ各種……………0.5~2kg</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刷毛、ローラー</li> <li>●リシンガン</li> <li>●モルタルガン</li> <li>●HSガン</li> </ul>	4時間以内	0.25kg/㎡	歩行可能：12時間以上 養生期間：48時間以上

### ■上記2工法の注意事項

- プールエースクッションIIホワイトの層を厚くすることも可能です。その際は、1回目の施工後、2回目を施工してください。
- プールエースクッショントップ遮熱にエストップ#20を混入する場合、混入量は3~5%で、施工方法はローラー・刷毛・吹き付けとなります。
- プールエースクッショントップ遮熱にエストップ#40、#60を混入する場合、混入量は8~11%で、施工方法はリシンガン・モルタルガン・HSガンを用いた吹き付けとなります。
- エストップ#40、#60を混入し、刷毛、ローラーでの施工は仕上り不良となるため、ご注意ください。

## プールエースクッショントップ遮熱標準色



▲グレー

▲ライトグレー

▲ライトグリーン

▲リフレクトグリーン

▲ライトブルー

▲ホワイト

●この色見本は印刷のため、実際の施工の仕上りとは多少の色違いが生じる場合があります。ご了承ください。

# プールサイドクッション遮熱床防水工法

ウレタン塗膜防水材料(JIS A 6021認証品)+プールエース複合法

プールは、槽内はもちろん、建物の保護の点からプールサイド・観覧席の防水に関しても配慮が求められます。

プールサイドは素足で歩行するため、防水材料にもプールに使用する塩素系殺菌剤への耐久性と適度なクッション性、歩行性が要求されます。また、真夏の炎天下、プールサイドは高温になり、歩きにくくなります。

プールエースクッション防水工法・プールエースクッション遮熱床防水工法は、

当社の実績あるウレタン塗膜防水材料「ブルーフロ」シリーズと、プール用塗料「プールエース」シリーズを組み合わせ、

優れた防水機能を発揮する画期的な防水工法です。

「プールエースプールサイドクッション遮熱床防水防滑工法」は、プールサイドの表面温度を抑制し、素足での歩行感を大幅に改善します。

「プールサイドゴムチップ・ウレタン複合弾性カラー舗装工法」は、更にクッション性を高めた、安全性に配慮した工法です。

## 特長

- 適度なクッション性、ソフトな歩行感と防滑性があります。
- 下地の亀裂に追従する防水性、また耐久性にも優れています。
- ホコリなどが散水で除去しやすく、衛生的なプールサイドを長期間保ちます。
- 付着性、耐水性、耐薬品性に優れています。
- 上塗りにプールエースクッショントップ遮熱を施工することで遮熱性能が向上し、熱による不快感を低減できます。

## 用途

- 屋上プール、レジャープールなど防水と遮熱機能が要求されるプールサイド、観覧席床などに最適です。

## プールサイドクッション遮熱床防水防滑工法 標準施工仕様(コンクリート・モルタル面)

工程	材料の割合	施工方法	可使時間(23℃)	使用量	施工間隔(23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。表面強度は1.5N/㎡以上、圧縮強度は、21N/㎡以上</li> <li>●打設後の養生は、充分に行ってください。コンクリート=夏季で打設後3週間以上、冬季で打設後4週間以上</li> <li>●モルタル=夏季で打設後2週間以上、冬季で打設後3週間以上</li> <li>●コンクリートおよびモルタル面は充分に強度を持ち、表面の脆弱部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●やレイトランスがないようにしてください。</li> <li>●モルタル表面に浮いているセメントや砂はワイヤーブラシなどで落としてください。</li> <li>●油脂分や離型材などはシンナーなどで除去してください。</li> <li>●砂、ゴミ、ホコリなどは真空掃除機で完全に除去してください。</li> </ul>			
防水下塗り	●ブルーフロプライマー S .....16kg (原液のまま使用してください)	●刷毛 ●ローラー	—	0.2kg/㎡	3時間以上72時間以内
接着用防水材料	●ブルーフロバリューDX 主 剤 ..... 5kg ●ブルーフロバリューDX 硬化剤 .....15kg	●ゴムベラ ●金ゴテ	40分以内	0.4kg/㎡	直ちに
補強材張り	●ガラスクロスCAG45を浮き、シワに注意して張り付けてください。 (相互の重ねしろは50mm以上)				直ちに
防水中塗り	●ブルーフロバリューDX 主 剤 ..... 5kg ●ブルーフロバリューDX 硬化剤 .....15kg	●ゴムベラ ●金ゴテ	40分以内	1.5kg/㎡	18時間以上72時間以内
歩行用中塗り	●プールエースクッションII ホワイト A液 .....15kg ●プールエースクッションII B液 ..... 5kg	●ゴムベラ ●金ゴテ	40分以内	1.4kg/㎡	18時間以上72時間以内
上塗り1回目	●プールエースクッショントップ遮熱 A液 .....15kg ● " " B液 .....3kg ●プールエースRシンナー .....0~3.6kg	●ローラー ●刷毛	4時間以内	0.2kg/㎡	4時間以上72時間以内
上塗り2回目	●プールエースクッショントップ遮熱 A液 .....15kg ● " " B液 .....3kg ●プールエースRシンナー .....2~3kg ●エストップ各種 .....0.5~2kg	●ローラー ●刷毛 ●リシンガン ●モルタルガン ●HSガン	4時間以内	0.25kg/㎡	歩行可能:12時間以上 養生期間:48時間以上

- 注意事項 ●改修工事の場合は、下地の状態により下地処理方法が異なりますので、最寄りの営業所までお問い合わせください。
- プールエースクッショントップ遮熱にエストップ#20を混入する場合、混入量は3~5%で、施工方法はローラー・刷毛・吹き付けとなります。
  - プールエースクッショントップ遮熱にエストップ#40、#60を混入する場合、混入量は8~11%で、施工方法はリシンガン・モルタルガン・HSガンを用いた吹き付けとなります。  
(エストップ#40、#60を混入し、刷毛・ローラーでの施工は、仕上り不良となるため、ご注意ください)
  - ガラスクロスのリップ幅は50mm以上行ってください。

# プールサイドゴムチップ・ウレタン複合弾性カラー舗装工法 標準施工仕様(コンクリート・モルタル面)

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリート、モルタルには十分な強度が必要です。表面強度は1.5N/㎡以上、圧縮強度は、21N/㎡以上</li> <li>●打設後の養生は、充分に行ってください。</li> <li>●コンクリート=夏季で打設後3週間以上、冬季で打設後4週間以上</li> <li>●モルタル=夏季で打設後2週間以上、冬季で打設後3週間以上</li> <li>●コンクリートおよびモルタル面は十分に強度を持ち、表面の脆弱部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヤレイタンスがないようにしてください。</li> <li>●モルタル表面に浮いているセメントや砂はワイヤーブラシなどで落としてください。</li> <li>●油脂分や離型材などはシンナーなどで除去してください。</li> <li>●砂、ゴミ、ホコリなどは真空掃除機で完全に除去してください。</li> </ul>			
下塗り	●NTエコプライマーU.....16kg (原液のまま使用してください)	●ローラー ●刷毛	—	0.15kg/㎡	3時間以上72時間以内
タックコート	●ユータックUグラウンドコートバインダー.....18kg ● // // 触媒※⑩.....0~2.5kg	●ローラー ●刷毛	40分以内	0.2kg/㎡	直ちに
ゴムモルタル	●ユータックUグラウンドコートバインダー.....18kg ● // // 触媒※⑩.....0~2.5kg ● // // ゴムチップ黒.....72kg	●熱ローラー ●熱コテ	6時間以内	8.0kg/㎡	16時間以上72時間以内
目止め	●プールエースクッションIIホホワイト A液.....15kg ●プールエースクッションII B液.....5kg ●ミルコンMS-2.....1~2kg	●ゴムベラ ●金コテ	40分以内	1.6kg/㎡	18時間以上72時間以内
クッション層	●プールエースクッションIIホホワイト A液.....15kg ●プールエースクッションII B液.....5kg	●ゴムベラ ●金コテ	40分以内	1.4kg/㎡	18時間以上72時間以内
上塗り1回目	●プールエースクッショントップ遮熱 A液.....15kg ● // // B液.....3kg ●プールエースRシンナー.....2~3kg	●ローラー ●刷毛	4時間以内	0.2kg/㎡	4時間以上72時間以内
上塗り2回目 (防滑仕上げ)	●プールエースクッショントップ遮熱 A液.....15kg ● // // B液.....3kg ●プールエースRシンナー.....2~3kg ●エストップ各種.....0.5~2kg	●ローラー ●刷毛 ●リシンガン ●モルタルガン ●HSガン	4時間以内	0.25kg/㎡	歩行可能：12時間以上 養生期間：48時間以上

## ■ユータックUグラウンドコートの注意事項

※⑩：ユータックUグラウンドコート触媒のバインダー18kgに対する添加量

気温	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃以上
添加量	2.5kg	1.8kg	1.1kg	0.7kg	無添加

- ユータックUグラウンドコート施工の際はオートマゼール、モルタルミキサー、熱ローラーが必要となります。
- ゴムチップ→バインダー(触媒を添加し十分に攪拌した)の順に平型モルタルミキサーで攪拌しながら投入し、ゴムチップが湿潤するまで十分に攪拌してください。
- バインダーの量は極端に多いと発泡しやすくなり、また、極端に少なければゴムチップが剥がれやすくなりますのでご注意ください。
- 施工は、コテなどで一定の厚みにならした後、熱ローラーなどで転圧してください。

## ■注意事項

- メンテナンスの場合は、下地の状態により下地処理方法が異なりますので、最寄りの営業所までお問い合わせください。
- プールエースクッショントップ遮熱にエストップ#20を混入する場合、混入量は3~5%で、施工方法はローラー・刷毛・吹き付けとなります。
- プールエースクッショントップ遮熱にエストップ#40、#60を混入する場合、混入量は8~11%で、施工方法はリシンガン・モルタルガン・HSガンを用いた吹き付けとなります。(エストップ#40、#60を混入し、刷毛・ローラーでの施工は、仕上り不良となるため、ご注意ください)

## 【ブルーフロンバリューDX、ブルーフロンバリューDX NSに対するブルーフロンバリューDX硬化促進剤の添加量】 【ユータッククッションII、ユータッククッションIIホホワイトに対するブルーフロンバリューDX硬化促進剤の添加量】

※ユータッククッションII ホホワイト、ブルーフロンバリューDX NSは通年型です。

### ■プールエースクッションII・ブルーフロンバリューDXの硬化促進剤量

#### ●夏型硬化剤を使用した場合

硬化促進剤の添加量 (20kgセットに対して)	気温	可使時間	次工程までの時間
添加なし	15℃	50分	24~72時間
	20℃	40分	20~72時間
	25℃	30分	16~72時間
	30℃	20分	12~72時間
0.03kg(0.15%)	15℃	40分	20~72時間
	20℃	30分	18~72時間
	25℃	20分	12~72時間
0.06kg(0.3%)	15℃	30分	16~72時間

●ブルーフロンバリューDX硬化促進剤の添加量は最大1.0%までとしてください。

#### ●冬型硬化剤を使用した場合

硬化促進剤の添加量 (20kgセットに対して)	気温	可使時間	次工程までの時間
添加なし	5℃	50分	26~72時間
	10℃	40分	20~72時間
	15℃	30分	18~72時間
	20℃	20分	16~72時間
	25℃	20分	16~72時間
0.05kg(0.25%)	5℃	40分	18~72時間
	10℃	30分	16~72時間
	15℃	25分	14~72時間
0.1kg(0.5%)	5℃	20分	14~72時間
	10℃	15分	12~72時間

●ブルーフロンバリューDX硬化促進剤の添加量は最大1.0%までとしてください。

### ■ユータッククッションII ホホワイトの硬化促進剤量

硬化促進剤の添加量 (20kgセットに対して)	気温	可使時間	次工程までの時間
添加なし	15℃	50分	24~72時間
	20℃	40分	20~72時間
	25℃	30分	18~72時間
	30℃	25分	12~72時間
0.02kg(0.1%)	10℃	50分	20~72時間
	15℃	40分	16~72時間
	20℃	30分	14~72時間
0.06kg(0.3%)	5℃	50分	20~72時間
	10℃	40分	16~72時間
0.1kg(0.5%)	5℃	30分	16~72時間

●ブルーフロンバリューDX硬化促進剤の添加量は最大1.0%までとしてください。

### ■ブルーフロンバリューDX NSの硬化促進剤量

硬化促進剤の添加量 (20kgセットに対して)	気温	可使時間	次工程までの時間
添加なし	15℃	50分	24~72時間
	20℃	40分	20~72時間
	25℃	30分	18~72時間
	30℃	25分	12~72時間
	10℃	50分	20~72時間
0.1kg(0.5%)	15℃	40分	16~72時間
	20℃	30分	14~72時間
	25℃	30分	14~72時間
0.2kg(1.0%)	5℃	50分	24~72時間
	10℃	40分	16~72時間
	15℃	30分	14~72時間
0.3kg(1.5%)	5℃	40分	20~72時間
	10℃	30分	14~72時間

●ブルーフロンバリューDX硬化促進剤の添加量は最大2.0%までとしてください。

## 注意事項

### プールエース関連の施工上の注意事項

#### ■施工環境に関する事項

- 屋外施工において、施工当日から翌日にかけて結露や強風、降雨、降雪、降霜が予測される場合は施工を避けてください。
- 油脂分や離型材などはシンナーなどで除去してください。
- 下地が乾燥していることを確認して施工してください。コンクリート・モルタル製プールの場合、下地水分はケット科学社製水分計 HI-500または520-2 コンクリートレンジの表示値が5%以下を目安としてください。但し、全面に「NTカチオンタイトF」や「プールエースエポキシフィラー」「NTエポキシ速乾フィラー」を施工する場合はこの限りではありません。
- 気温が35℃以上または5℃以下、湿度85%以上の環境での施工は避けてください。
- 炎天下の施工は、塗膜のフクレが生じる恐れがあります。日中の作業は避け、朝夕に施工してください。
- 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに施工を終了し、十分に乾燥時間を確保してください。光沢低下、フクレ、割れ、ハガレの原因になります。
- 未乾燥(未硬化)状態の塗膜に雨や夜露、結露が当たると、艶引けや造膜不良、白化、付着不良、変色などの不具合が生じる恐れがあります。
- 冬季や夜間に気温が低下した時は硬化乾燥に時間がかかるため、作業時間を考慮してください。5℃以下の低温下では塗膜の硬化乾燥が遅くなり、施工間隔や養生時間が変わります。結露などの水分の影響を受けやすくなるため、施工後

- の温湿度管理にも注意を払ってください。特にエポキシ樹脂フィラーやエポキシ樹脂系塗料の硬化は極端に遅くなります。冬季は「プールエースエポキシフィラー」より「NTエポキシ速乾フィラー」のご使用を推奨します。
- 高温時には可使時間が短く、硬化乾燥が速くなるため、レベリング不良や泡抜け跡の発生など仕上りに異常が発生することがあります。
- 高湿度下では塗膜表面が艶引けや白化を生じます。送風機などを用いて環境の改善を行ってください。
- 施工時は、できるだけ粉塵やゴミが舞わない環境にしてください。養生期間中にそれらが付着すると、仕上りに影響します。

#### ■塗料の仕様・調合に関わる事

- 本製品は標準施工仕様書に従って施工してください。標準施工仕様は、あくまで「標準」的な仕様であり、下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより使用量や可使時間などに多少幅を生じることがあります。
- 施工時の気温を確認し、施工可能な温度領域にあった塗料や硬化剤を選択し、適切な施工環境を確保してください。低温の場合、硬化反応が進まず塗膜硬度発現の低下など塗膜物性の低下や外観不良が発生します。高温の場合は、可使時間が短くなり硬化が速くなるため、レベリング不良や泡抜け跡の発生など仕上り異常が発生する場合があります。
- 使用する塗料および希釈剤(シンナー)は必ず標準施工仕様書に記載されたものを使用し、他の塗料と混合しないでください。
- 「NTカチオンタイトF」は水希釈しないでください。
- 「NTカチオンタイトF」や「NTエポキシ速乾フィラー」などの施工時にコンクリートやモルタルで吸い込みが激しい場合は、NT吸水調整剤もしくは水打ちを行い、吸水調整を行ってから施工してください。「プールエースエポキシフィラー」は水打ちを行ってください。
- フィラー関係のコテ施工では、コテ圧をかけて下地に擦り込むように塗り付けてください。
- 標準施工仕様書に規定されている以上の希釈は行わないでください。過度な希釈は仕上り不良や硬度低下を引き起こし、正常な塗膜物性が得られません。特に無溶剤塗料の場合、希釈しすぎると硬化不良や硬度低下、白化の原因となります。
- 塗料の希釈率は標準施工仕様書の範囲内で試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。ただし、希釈率は色や施工条件により変化しますのでご了承ください。
- 「ガードブルーF」「プールエースクッションII」「ブルーフロンバキューDX」「ブルーフロンバキューDX NS」「ユータックUグラウンドコートバインダー」は無溶剤塗料です。「ユータックUグラウンドコートバインダー」を除く製品は専用希釈剤の希釈は3%未満です。3%以上希釈すると硬化性や塗膜物性が低下します。
- 塗料は調合時や使用前に電動攪拌機などで十分に攪拌してください。塗料を小分けして使用する場合は、あらかじめ塗料缶の内容物を均一になるように攪拌してから小分けを行い、秤を用いて計量し塗料の調合を行ってください。特に艶調整した塗料や防滑骨材が配合された塗料は沈降や分離している場合がありますのでご注意ください。
- 塗料の調合は、必ず、秤を用いて標準施工仕様書の配合比で調合し、電動攪拌機などで十分に攪拌してから施工してください。2液以上を調合する反応硬化タイプの塗料は、A液(主剤)、B液(硬化剤)、硬化促進剤、添加剤を標準施工仕様書通り計量し混合しないと硬度が発現しない、べたつきが残るなどの硬化不良や外観不良、白化などの不具合が発生します。硬化不良が発生した塗膜は除去して、再施工してください。
- 角弁内でA液、B液など複数の塗料を混合攪拌する時は、缶の隅や底、側面の塗料が混合されていない場合があります。注意して攪拌を行ってください。
- 骨材などを入れて調合する場合は、A液(主剤)とB液(硬化剤)を先に調合、攪拌した後、骨材を加えて混合攪拌してください。
- 硬化剤と促進剤を使用する場合は、まず促進剤

- を添加し、十分に攪拌してから硬化剤を添加してください。
- 塗料の種類により攪拌機の選定を行ってください。回転が速い、羽の形状が異なるなどの条件によっては、混合攪拌中に泡を巻き込み施工後にも泡が残ることがあります。また、攪拌の際に泡が立たないように注意して行ってください。攪拌時間が長すぎても泡の発生につながります。
- 計量・混合攪拌する作業場所は養生シートを敷き、未混合の塗料や攪拌不足の塗料が施工面に付着しないようにしてください。また、塗料がこぼれたら直ちに除去してください。缶の底に未混合の塗料が付着した場合も同様に除去してください。施工面に未混合や攪拌不足の塗料が付着した場合、その部分が硬化不良や外観不良、剥離の原因となります。
- 塗料を混合した缶などは使いまわしをしないでください。混合の都度、新品を用いるか、きれいに洗浄、乾燥を行った後に使用してください(反応硬化が進んだ塗料と混入した場合は、フクレが生じることがあります)。
- 塗料の調合は、施工速度に合わせて行ってください。
- 下地に勾配がある場合、施工した塗料が流れ、硬化途中で塗膜が又したり、シワが発生する場合があります。勾配がある面に施工する場合は、タレ防止材などを使用して流れないように塗料調整を行ってください。ただし、高粘度になった塗料は仕上げが困難となりますので、ご注意ください。
- 温水プールなど水温が高い環境下でご使用の場合は、消毒剤の影響で通常使用のプールに比較し耐久性が短くなる場合があります。



## ■施工に関する事項

- 施工時は、可使時間を守って施工してください。施工時間を過ぎて塗料粘度が変わらない塗料もあります。使用前に、可使時間や施工間隔など塗料の施工上の注意事項、取り扱い注意事項をご確認のうえ施工してください。不明な場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 標準施工仕様書の使用量を守ってください。多すぎても少なすぎても仕上り不良や塗膜性能が発揮されない場合があります。
- 施工間隔(塗り重ね時間)は施工現場の温度、湿度、換気、風通し、下地の状態などにより変わります。現場の状況や塗膜の硬化乾燥状況を確認しながら施工してください。
- 一度調合した塗料は必ず可使時間内に使い切るようにしてください。可使時間を過ぎた塗料は使用しないでください。作業性、付着力の低下や仕上りなどが悪くなります。なお、可使時間は、塗料温度と雰囲気温度に依存します。夏季は特に短くなりますのでご注意ください。
- エポキシ樹脂やウレタン樹脂塗料などは、施工間隔が一定以上経過した場合、次工程の塗料の付着が低下します。施工間隔を守って施工してください。また施工間隔が、標準施工仕様書に規定された時間以上経過した場合は、目粗しなどの処理やプライマーなどを施工する必要があります。
- 各工程の塗料は、塗り残しが無いように施工してください。
- プライマー施工後の降雨は、プライマーの付着性を著しく阻害しますので、全面ケレン後に再施工が必要となります。
- 「プールエース#200」各種を施工中、施工後に降雨により白化が起こった場合は、表面をペーパーで目粗し後、上塗りを施工してください。
- ローラーと刷毛、コテなど施工方法が混在する場合、使用量、表面肌が異なることで若干色相や仕上に差が出る場合があります。特に補修塗りを行う際は注意し、仕上りを確認したうえで

- で希釈量などを決め最小範囲でおさめ、目立ちにくくなるよう施工してください。
- 施工では可使時間を守り、同一床面では一度で一気に仕上げてください。
- ガラスクロスやサーフェスマットを張る時は、ラップ幅は#50mm以上としてください。張りつけ時、泡が混入しないようにしてください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように行ってください。ローラー目の方向により色や仕上りが異なって見える場合があります。
- ローラー施工する場合、ローラーの種類によってはローラーの毛が取れて塗膜に混入することがあります。ローラーの選定には充分ご注意ください。
- 塗膜の硬化乾燥が不十分な状態で次工程を施工すると再溶解やリフティング(塗膜のチヂレ)が発生する場合があります。硬化乾燥していることを確認してから施工してください。
- 水性塗料を一度に厚塗りした場合、中膿みが発生し、施工後に割れや浮き、剥離などの不具合が発生する恐れがあります。使用量を守って施工してください。
- 水性塗料を重ね塗りする場合、下層の塗膜が十分に硬化乾燥していることを確認してから施工してください。硬化乾燥が不十分な状態で重ね塗りすると、次工程の硬化乾燥が著しく遅延し、軟質の塗膜となって、割れや剥離の原因となります。
- 色相によっては2回塗りでは隠えない場合があります。その場合は、一度に多くの使用量で施工せず、施工回数を増やしてください。
- 艶ありの防滑仕上げにおいて、防滑骨材の量や骨材の頭出しと使用量により部分的に仕上り差を感じる場合があります。ご注意ください。
- 養生テープは、工程ごとに養生テープを貼り替えてください。また、養生テープは塗料が硬化する前に除去してください。塗膜が硬化した後

- では、養生テープの除去が困難になります。
- 「ユータックレグラウンドコート」は熱ローラーや熱コテなどの専用の施工器具が必要です。
- 遮熱塗料は、特殊顔料を使用していますので、経年劣化による褪色の傾向が一般塗料と異なる場合があります。経年で若干、赤味を帯びることがあります。
- 遮熱塗料は特殊顔料を使用しているため、塗料表面に色が浮きやすい傾向があります。十分に攪拌してご使用ください。
- 遮熱効果は、塗膜上に汚れが堆積すると遮熱性能が低下します。他にも立地環境などが起因する場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 遮熱性能は、明度と色相により変わります。既存塗膜の色が塗り替え予定の色より薄い場合、遮熱効果が得られない場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 遮熱塗料の全面施工と部分施工では遮熱効果が異なります。部分施工では未塗装部分が影響し遮熱効果が得られない可能性がありますので、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 各製品の取り扱いの際は、塗料は用途・用法を守り、本カタログや「NTカチオンタイトF」「NTエポキシ速乾フィラー」「ガードブルーF」「ブルーフロンシリーズ総合カタログ」「製品案内ニットの塗り床材 ユータックシリーズ」などの個別カタログ、標準施工仕様書、SDSをよくお読みになり正しくご使用ください。
- 記載が無い事項については、公共建築工事標準仕様書および同監理指針、公共建築工事改修工事標準仕様書および同指針をご参照ください。また、文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)、建築改修工事標準仕様書(特記基準)、床ハンドブック(日本塗床工業会)もあわせてご参照ください。

## プールの保守・管理

### ■施工完了後から注水までの養生日数

10℃	施工完了後10日以上
20℃	施工完了後7日以上
30℃	施工完了後5日以上

- 施工終了後からの養生日数が短い場合、塗膜のフクレや剥離、退色、耐久性悪化などの原因となります。
- 冬季は極端に乾燥が遅くなりますので、注水までの時間は長くとってください。

### ■プール用殺菌消毒剤使用に関する注意事項

- プール用殺菌消毒剤には脱色作用があります。原液・原体や濃度の高い殺菌消毒剤を施工面に落とさないようにしてください。
- プール用殺菌消毒剤としては、次亜塩素酸カルシウムや次亜塩素酸ナトリウム系の殺菌消毒剤をおすすめします。
- 固形の殺菌消毒剤を直接投入した場合や溶解不十分な状態で投入した場合は塗装面が白く変色したり、剥離することがあります。固形の殺菌消毒剤を使用する場合は事前に溶解させるか、プール用塩素自動供給機などを使用してください(詳細は殺菌消毒剤メーカーにお問い合わせください)。

- 遊泳プールの遊離残留塩素濃度は0.4~1.0ppm(0.4~1.0mg/l)の範囲で管理を行ってください。遊離残留塩素濃度が高い状態で使用すると、早期に脱色や白垂化が生じやすくなります。

### ■プール清掃に関する注意事項

- 排水するときは必ず清掃してください。なお、清掃する場合は塗膜を傷つけないようにしてください。また、汚れや油脂類は中性洗剤で除去してください。
- プール内の水は必ずオーバーフローし、きれいな水を保ってください。
- プール内の水をろ過装置に通さないと塗膜に汚れが付着し、後に藻類が発生する恐れがあります。

### ■開園に向けた管理

- プールの掃除には柔らかいモップやゴム製の水切りを使用してください。硬い物を使用した場合、塗装面を傷つけるため使用しないでください。
- プール面の汚れは市販の中性洗剤を用いて洗浄後、十分に水洗いを行ってください。
- 排水口の蓋を取り除いて、内部まで清掃してください。清掃完了後、必ず排水口の蓋を固定してください。

- 塗装面が部分的に剥離している場合は、サンドペーパーで剥離部の表面を荒らした後、塗装面に適した塗料で補修塗りを行ってください。
- コースロープなどの取り付け、取り外しの際に塗膜を傷つけないように注意してください。

### ■開園中の管理

- ブルクリーナーや水中掃除機を使用する場合、塗装面に傷を付けないようにしてください。
- プール内の異物は直ちに取除いてください。とくに鉄製品(ヘアピンなど)は早期に赤サビが発生し、赤サビが塗装面に付着した場合は除去しにくいので、ご注意ください。
- 排水口の蓋は定期的な清掃、ならびに固定状況を点検してください。

### ■開園中のプール水について

- 開園中は、残留塩素の測定を行い、管理してください。
- 遊泳プールの遊離残留塩素濃度は0.4~1.0ppmの範囲で管理を行ってください。遊離残留塩素濃度が高い状態で使用すると、早期に脱色や白垂化が生じやすくなります。
- 残留塩素量は、入泳者数や気温、天候により変わります。使用前、使用中、定期的に管理してください。

# POOLACE

## 取り扱い上の注意事項 (よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合ABC粉末消火器にて消火するなど適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 安全衛生上の観点から、取り扱い中は皮膚に触れないようにし、有機溶剤の蒸気を吸わないよう必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋、および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器(取っ手を含む)はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹼と水で充分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- エポキシ樹脂系塗料は体質により皮膚障害などの感作を受ける場合があります。医師の指導を受け必要な措置を講じてください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気のよい室温5℃以下、35℃以上にならない屋内で保管してください。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。夏季に車内での保管や高温になる場所での保管は危険ですので避けてください。
- 水性塗料は5℃以下で保管すると凍結の恐れがあります。一度凍結した塗料は、仕上り不良、物性低下、割れなどの不具合の原因となります。
- 「ガードブルー」「プールエースクッションⅡ」「ユータックE-30ECO」「ユータックE-30N」「ブルーフロンバリュー-DX」「ブルーフロンバリュー-DX NS」は、A・B液(主剤・硬化剤)を混合し、容器中にそのまま放置しますと急激に発熱し、危険な状態になることがありますので、標準施工仕様書の手順を守ってください。
- 「NTカチオンタイトF 主材」や「NTエポキシ速乾フィラー パウダー」「プールエースエポキシフィラー-A材」「PSパウダー」は水分と反応し固まります。保管には充分に注意し、地面に長い間放置したり、雨に当たったりすることは避けてください。また、長期にわたる在庫も避けてください。一度開封した粉体は充分に密閉し、湿気の影響を受けないように保管してください。
- 「ブルーフロンプライマー-S」「プールエースクッションプライマー」「NTエコプライマーU」「プールエースクッションⅡ B液」「ブルーフロンバリュー-DX主剤」「ユータックUグラウンドコート」、各種プールエーストップコートB液(プールエース#300、#300クリヤー、#400、#500、#500クリヤー、クッショントップなど)は水分と反応し固まります。保管中や休憩中は必ずフタをしてください。また、缶から出して使用した塗料は、元の缶に戻したり、未使用の塗料と混合して保管しないようにしてください。保管中に固まる場合があります。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 本製品は、揮発性の化学物質(有機溶剤など)を含有し、臭気が発生します。あらかじめ元請や施主、近隣住民への説明を行い、了解を得てください。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 特定化学物質障害予防規則の対象となる塗料は、同規則に従い作業主任者を選任するなどの法令遵守をお願いします。
- 本製品の取り扱い並びに輸送及び保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種適用法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート(SDS)をご参照ください。

\*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

**【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】**

## 日本特殊塗料株式会社

### ■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323  
神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739  
中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12 ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124  
大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560  
中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256  
九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

塗装仕様等、使い方の詳細情報は  
こちらをご確認ください。  
設計・工事監理者および工事請負  
者は、必ずご確認ください。

